

第3期教育振興基本計画 評価指標設定シート

資料3

第2期計画						第3期計画							
施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	担当課	施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標指標の考え方	担当課
基本目標1 心豊かでたくましく生きる力を育む教育を実現します						基本目標1 心豊かで、たくましく、しなやかに生きる力を育む教育を実現します							
(1)就学前の教育・保育の充実	子育て支援の充実	待機児童発生数	0人	0人	0人	保育幼稚園課	(1)就学前の教育・保育の量と質の充実	子育て支援の充実	【新規】地域子育て支援センター利用者の満足度	—	80%	評価指標は、地域子育て支援センターの利用者のアンケートから満足度を指標として設定した。目標値は、平成30年度の合同事業のアンケート結果を基に設定した。	保育幼稚園課
	子育て支援の充実							【新規】子育て・子育て支援の充実についての満足度(市民意識調査)	30.6%(R3年度)	35%	評価指標は、子育て・子育て支援について、市民意識調査の項目を用いた。目標値は、子育て・子育て支援の充実の満足度および子育てしやすいまちだと思ふ市民の割合について、年1%程度の増加を目標とした。	保育幼稚園課	
	就学前教育・保育施設の充実							【新規】米原市を子育てしやすいまちだと思ふ市民の割合(市民意識調査)	思う・まあ思う 44.4%(R3年度)	50%		保育幼稚園課	
	就学前教育と小学校教育との円滑な接続と連携の推進							待機児童数	0	0	評価指標は、待機児童数を指標として設定した。目標値は、待機児童ゼロとして設定した。	保育幼稚園課	
							就学前教育と小学校教育との円滑な接続と連携の推進	【新規】認定こども園等と小学校が連携を行った最少回数	3回	6回	評価指標は、各園と学校の幼少連携回数は学校の状況等により大きな開きがあることから、幼少連携に取り組んだ学校の最少の取組件数を指標とした。目標値は、学期ごとに2回計6回で設定した。	学校教育課	
(2)確かな学力の向上	基礎学力の向上	総合学力調査「読む能力」の正答率	小学校:68.7% 中学校:63.8%	小学校: 無 中学校: 無	小学校:70% 中学校:65%	学校教育課		基礎学力の向上	全国学力・学習状況調査の国語科「読む能力」の正答率	小学校:未実施 (R1:78.9%) 中学校:未実施 (R1:70.9%)	小学校:80.0% 中学校:75.0%	評価指標は、全国学力・学習状況調査(読む能力)の結果を用いた。目標値は、令和元年度の実績値を参考に設定した。	学校教育課
								主体的・対話的で深い学びを目指す授業づくり					
	外国語教育・国際理解教育の推進							外国語教育・国際理解教育の推進	【新規】全国学力・学習状況調査の「5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた」児童割合(小学校)	70.4%	75.0%	評価指標は、全国学力・学習状況調査の結果を用いた。目標値は、外国語を学ぶことにより自分自身の考えを相手に伝えることができると感じる児童の割合を指標として設定した。	学校教育課
								外国語教育・国際理解教育の推進	【新規】全国学力・学習状況調査の「1,2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていた」生徒の割合(中学校)	74.9%	80.0%	評価指標は、全国学力・学習状況調査の結果を用いた。目標値は、外国語を学ぶことにより自分自身の考えを相手に伝えることができると感じる生徒の割合を指標として設定した。	学校教育課
	子どもたちの読書活動の推進	図書館の児童書貸出冊数	170,031冊	99,975冊	171,000冊	生涯学習課		子どもの読書活動の推進	【新規】1か月に1冊以上本を読んだ児童生徒の割合	小学校 R1 96.8% R3 96.0% 中学校 R1 87.6% R3 95.2%	小学校 100% 中学校 95%	評価指標は、読書活動が進んでいるかを知るため、児童生徒が1か月に1冊以上本を読んだ児童生徒数とした。目標値は、令和元年度および令和3年度を参考に設定した。	学校教育課 生涯学習課
	新しい教育課題に対応した取組							教育情報化の推進	【新規】全国学力・学習状況調査「学校でICT機器を友達との意見交換や調べることにほぼ毎日使用している」児童生徒の割合	無	80%	評価指標は、全国学力・学習状況調査の学校での児童生徒のICT機器の活用頻度を指標とした。目標値は、一人1台タブレットの配備されたことにより、使用頻度が上昇することを想定し設定した。	学校教育課
							小学校教育と中学校教育との連携の推進	【新規】小中が連携を行った最少回数	4回	6回	評価指標は、小中学校の小中連携回数は学校の状況等により大きな開きがあることから、小中連携に取り組んだ学校の最少の取組回数を指標とした。目標値は、学期ごとに2回計6回で設定した。	学校教育課	

第3期教育振興基本計画 評価指標設定シート

資料3

第2期計画						第3期計画							
施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	担当課	施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標指標の考え方	担当課
(3)豊かな心の育成	道徳教育の推進	長期(年間 30 日以上)欠席率(小学校・中学校)	小学校:0.58% 中学校:2.57%	小学校:0.77% 中学校:3.33%	小学校:0.5% 中学校:2.4%	学校教育課	(3)豊かな心の育成	道徳教育の推進	【新規】全国学力・学習状況調査「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合。	小学校:76.7% 中学校:79.5%	小学校:85.0% 中学校:85.0%	評価指標は、全国学力・学習状況調査結果(自己肯定感)を用いた。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	学校教育課
	人権教育の推進							【新規】全国学力・学習状況調査「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合。	小学校:81.9% 中学校:64.9%	小学校:90.0% 中学校:85.0%	評価指標は、全国学力・学習状況調査結果(自己有用感)を用いた。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。		
	キャリア教育の推進											情報モラル教育の推進	
	地域における学校園間・世代間交流の推進	学力・学習状況調査「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」児童生徒の割合(小学校・中学校)	小学校:96.7% 中学校:93.2%	小学校:96.9% 中学校:97.0%	小学校:100% 中学校:100%	学校教育課		地域における学校園間・世代間交流の推進	地域学校協働活動登録ボランティア数	794人	1000人	評価指標は、登録ボランティアの拡充を目指すためボランティア数とした。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	学校教育課
	子どもへの暴力防止の推進							子ども等への暴力防止の推進	【新規】児童虐待防止に関する研修実施率	75.8%	100%	評価指標は、児童虐待防止のために行った、研修の実施率を指標として設定する。目標値は、全ての園で研修が実施されることを目指し、目標値を100%とした。	子育て支援課
	(4)健やかな体の育成	学校における体育指導の充実	子ども(小学5年生)の体力・運動能力テストの体力合計点	男子:51.56 女子:53.82	男子:無 女子:無	全国平均を上回る		学校教育課	学校における体育指導の充実	全国体力・運動能力調査子ども(小学5年生)の体力・運動能力テストの体力合計点	男子:未実施 女子:未実施	全国平均点を上回る	評価指標は、全国体力・運動能力調査の結果を用いた。目標値は、全国平均値を上回ることとした。
		体力・運動能力調査「持久走」の県平均を上回った学年数(中学校)	全学年	男子:無 女子:無	全学年	学校教育課	全国体力・運動能力調査子ども(中学2年生)の体力・運動能力テストの体力合計点	男子:未実施 女子:未実施		全国平均点を上回る		学校教育課	
健康教育の推進		体力・運動能力調査「50m走」の県平均を上回った学年数(小学校)	男子:2学年 女子:4学年	男子:無 女子:無	男子:4学年 女子:4学年	学校教育課	健康教育の推進	【新規】小中学校への出前講座の実施率	1校	8校	評価指標は、例年小中学校からの依頼で健康教育を実施しており、出前講座の実施率とした。目標値は、一昨年から新型コロナウイルス感染症流行に伴い、出前講座の中止や依頼の自粛が続いており、出前講座の実施率が低下している。コロナ禍前には全校実施していたため、半数の実施を目標とした。	健康づくり課	
基本的な生活習慣の形成							(4)健やかな体の育成	基本的な生活習慣の形成	【新規】全国学力・学習状況調査「朝食を毎日食べている」児童生徒の割合	小学校 95.7% 中学校 97.1%	98% 98%	評価指標は、全国学力・学習状況調査結果を用い、基本的な生活習慣の一つである朝食を食べている児童生徒の割合とした。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	学校教育課
食育の推進						食育の推進		【新規】栄養士による食育の指導回数	54回	75回	評価指標は、食育を進めるため、栄養士が学校の職員または児童生徒への指導回数を指標として設定した。目標値は、令和2年度の状況を基に設定した。	学校給食課	
給食の充実						安全・安心な学校給食の提供		学校給食に地場産物を使用する割合(食材数ベース)	39%	県平均を上回る	目標指標は、地場産物の活用することにより、地域の自然環境への意識向上につながることから、指標として設定した。目標値は、県平均を上回ることとした。	学校給食課	
地域における野外遊び・スポーツ環境の確保													
子どもの健康増進プログラムの推進													
校外学習等への支援													

第3期教育振興基本計画 評価指標設定シート

資料3

第2期計画							第3期計画						
施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	担当課	施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標指標の考え方	担当課
(5)地域の良さを生かした特色ある教育の推進	米原の自然・歴史を学ぶ機会の充実	「ふるさと3事業」実施校園率	76%	63.0%	100%	学校教育課	(5)地域の良さを生かした特色ある教育の推進	米原の自然・歴史を学ぶ機会の充実	「伊吹山に登ろう」「ふるさとを描こう」のほかふるさと親子俳句事業を実施した学校の	76%	100%	評価指標は、「伊吹山に登ろう」「ふるさとを描こう」、ふるさと親子俳句事業を実施することで、米原の自然・歴史を学ぶ機会の充実が図られることから指標として設定した。目標値は、全校が実施することを目標とした。	学校教育課
	環境学習の推進	学校給食に地場産物を使用する割合(食材数ベース)	34.4%	39.0%	35%	学校給食課		環境学習の推進	学校給食に地場産物を使用する割合(食材数ベース) 【再掲】	39%	県平均を上回る	目標指標は、地場産物の活用することにより、地域の自然環境への意識向上につながることから、指標として設定した。目標値は、県平均を上回ることとした。	学校給食課
									【新規】伊吹山等における自然観察会	0回 (R1 4回)	4回	目標指標は、自然環境を学ぶための機会の創出の指標として、継続的に実施している自然観察会を指標として設定した。目標値は、令和元年度(4回実施)を基に設定した。	自治協働課
	地域人材の活用	総合学力調査「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」児童生徒の割合	小学校:42.5% 中学校:34.8%	小学校:49.4% 中学校:35.7%	小学校:45% 中学校:35%	学校教育課		地域人材の活用	全国学力・学習状況調査「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」児童生徒の割合	小学校:49.4% 中学校:35.7%	小学校:55.0% 中学校:45.0%	目標指標は、全国学力・学習状況調査結果を用いた。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	学校教育課
	ふるさとを愛し誇りに思う心の育成							ふるさとを愛し誇りに思う心の育成					
基本目標2 学校・家庭・地域がつながり、協働して地域全体の教育力を高めます						基本目標2 学校・家庭・地域がつながり、協働して地域全体の教育力を高め、ふるさとを愛する人を育てます							
(1)子育て支援と家庭の教育力の向上	家庭の教育力向上の支援	子育てをテーマにした講演会の参加者数	265人	無 人	300人	子育て支援課	(1)子育て支援と家庭の教育力の向上	家庭の教育力向上の支援	子育てをテーマにした講演会の参加者数	未開催	300人	評価指標は、家庭教育の効果的な方法について学ぶ機会を提供する講演会を指標として設定した。目標値は、ルッチプラザでの講演を想定し300人とした。	子育て支援課
	家庭支援推進保育事業の推進					親子のつながり・親子活動の充実							
	親子のつながり・親子活動の充実					家庭支援推進保育事業の推進							
	PTA連絡協議会との連携							PTA連絡協議会との連携	【新規】研修実施回数	0回	2回	評価指標は、PTA事業における家庭の教育力の向上に関連する研修や広報の実施について指標として設定した。目標値は、研修については、半年に1回、広報については年1回の発行とした。	子育て支援課
									【新規】広報発行回数	1回	1回		
	子ども家庭支援ネットワーク事業の充実	家庭児童相談対応ケース数	356件	250件 (100%)	対応率100%	子育て支援課		要保護児童対策地域協議会の充実	【新規】伊吹山TVによる周知回数	0回	1回	評価指標は、児童虐待は未然防止の周知として、伊吹山TVの放送回数を指標として設定した。目標値は、1回以上周知を行うこととした。	子育て支援課
インターネット・ゲーム・携帯電話等の適切な利用の推進						インターネット・ゲーム・スマートフォン等の適切な利用の推進	【新規】学力・学習状況調査「スマートフォン等の使い方について、家族との約束を守っている」児童生徒の割合【再掲】	小学校 55.0% 中学校 56.7%	70% 70%	評価指標は、全国学力・学習状況調査の結果を用いた。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	学校教育課		
(2)子どもの育ちを支えるコミュニティづくり	社会活動・体験活動等を通じた交流機会の充実	学力・学習状況調査「地域の行事に参加している」児童生徒の割合	小学校:85.3% 中学校:60.4%	小学校:78.6% 中学校:56.8%	小学校:88% 中学校:65%	学校教育課	社会活動・体験活動等を通じた交流機会の充実	全国学力・学習状況調査「地域の行事に参加している」児童生徒の割合	小学校:78.6% (R1 86.5%) 中学校:56.8% (R1 65.5%)	小学校:88.0% 中学校:65.0%	評価指標は、全国学力・学習状況調査の結果を用いた。目標値は、令和元年度の現状値を参考に設定。	学校教育課	
	学校園と地域団体の連携					学校園と地域団体等の連携							
	地域における子育て支援活動・体験活動の充実	冒険遊び場の設置数	2か所	3か所	5か所	子育て支援課	地域における子育て支援活動・体験活動の充実	冒険遊び場の設置数	3か所	3か所	評価指標は、地域における体験活動の場である冒険遊び場の設置数を指標として設定した。目標値は、現状維持とし、令和2年度と同様3か所とした。	子育て支援課	
	放課後児童の居場所づくり	放課後児童クラブの設置数	9か所	9か所	10か所	子育て支援課	放課後等の子どもの居場所づくり	【新規】放課後児童クラブの待機児童数(年間利用)	11人	0人	評価指標は、児童クラブの待機児童数を指標として設定した。目標値は、待機児童数ゼロとした。	子育て支援課	

第3期教育振興基本計画 評価指標設定シート

資料3

第2期計画							第3期計画						
施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	担当課	施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標指標の考え方	担当課
(3)青少年の健全育成	子ども会活動の充実	子ども会事業への参加数	493人	33人	500人	子育て支援課	(3)子どもや青少年の健全育成	子ども会活動の充実	子ども会活動への参加者数	33人 (R1 371人)	300人	評価指標は、子ども会事業への参加者を指標として設定した。 目標値は、令和元年度の実績(371人)を基に、連合のみの事業となり、参加者の減少することを加味し設定した。	子育て支援課
	青少年の健全育成の推進	あいさつ運動実施率	100%	88.9%	100%	子育て支援課		ヤングケアラーの把握・支援	【新規】教職員への研修の実施回数	—	1回	評価指標は、児童生徒に一番気づきやすい教職員へ子どもの問題に関する研修の実施回数を指標として設定した。 目標値は、1回以上の研修を実施することとした。	子育て支援課
		少年補導委員街頭補導活動回数	861回	812回	900回	子育て支援課		青少年の健全育成の推進	あいさつ運動実施率	88.9%(年8回)	100%(年9回)	評価指標は、あいさつ運動の実施率を指標として設定した。 目標値は、地域全体で子ども達を見守るため、8月、1月、2月を除くすべての月初にあいさつ運動を実施していることから年9回の実施とした。	子育て支援課
	子ども・若者支援地域協議会活動の推進							子ども・若者支援地域協議会活動の推進	【新規】あおぞらにおける就労または就労体験件数	2件	5件	評価指標は、就労または就労体験につながった件数を指標として設定した。 目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	子育て支援課
(4)学校支援活動や地域活動の担い手の確保	コミュニティ・スクール化の検討	学校支援地域本部事業設置率	33%	100%	100%	学校教育課	(4)学校支援活動や地域活動の推進	コミュニティ・スクールの推進	地域学校協働活動登録ボランティア数【再掲】	794人	1,000人	目標指標は、登録ボランティアの拡充を目指すため、ボランティア数を指標として設定した。 目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	学校教育課
	学校支援ボランティアの充実	学校支援地域本部登録ボランティア数	330人	794人	500人	学校教育課		学校を支援するボランティアの拡充	まなびサポーター登録者数	164人	145人	評価指標は、まなびサポーター登録者数を指標として設定した。 目標値は、まなびサポーターの活動状況に応じて登録者の整理を行う予定であるため、令和2年度の登録者を基に設定した。	生涯学習課
		まなびサポーター登録者数	135人	164人	145人	生涯学習課			子どもの地域活動を支える担い手の確保	地域学校協働活動登録ボランティア数【再掲】	794人	1000人	目標指標は、登録ボランティアの拡充を目指すため、ボランティア数を指標として設定した。 目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。
	子どもの地域活動を支える担い手の確保							ジュニアリーダーの育成	【新規】ジュニアリーダー育成事業実施回数	6回	12回	評価指標は、地域活動の将来を担う若い世代を育てるため、ジュニアリーダー育成事業の実施回数を指標として設定した。 目標値は、令和元年度現状値を基に設定した。	子育て支援課
	ジュニアリーダーの育成							信頼される学校園づくりの推進	地域連携に向けた学校園の環境・体制の整備	学校運営協議会委員年間活動平均回数	4回	4回	評価指標は、学校運営協議会委員の活動回数を指標として設定した。 目標値は、令和2年度の活動回数を基に設定した。
(5)地域に開かれた学校園づくり	信頼される学校園づくりの推進	園運営委員・学校評議員活動平均回数	2回	3.5回	3回	学校教育課 保育幼稚園課	(5)地域との協働による学校園づくり	信頼される学校園づくりの推進	地域連携に向けた学校園の環境・体制の充実				
基本目標3 一人一人が大切にされ、安全・安心で質の高い教育が受けられる環境をつくります							基本目標3 一人一人が大切にされ、安全・安心で質の高い教育が受けられる環境をつくります						
	学校における発達障がいのある子どもへの支援							学校園における発達障がいのある子どもへの支援	職員が出席する特別支援教育等に関する研修回数	認定こども園等 3回 小中学校 4回	認定こども園等 4回 小中学校 4回	評価指標は、特別支援教育の専門性向上のための市が実施するまたは全園の職員対象の研修の実施を指標として設定した。 目標値は、研修実施回数とした。	学校教育課 保育幼稚園課
	特別支援教育の充実							特別支援教育の充実					
	子どもケアサポーターの派遣	子どもケアサポーター派遣人数	42人	26人	50人	学校教育課		子どもケアサポーターの派遣	子どもケアサポーター派遣人数	26人	35人	評価指標は、子どもケアサポーター派遣人数を指標として設定した。 目標値は、サポーター全員の勤務時間数をフルタイムの時間数で割った人数とした。	学校教育課
	日本語支援が必要な児童生徒の支援							日本語支援が必要な外国籍の児童生徒の支援	日本語指導が必要な児童生徒に対する特別指導の実施割合	93.3%	100%	評価指標は、外国籍の日本語指導が必要な児童生徒に日本語の指導などを実施した割合を指標として設定とした。 目標値は、対象となる児童生徒全員への実施である100%とした。	学校教育課

第3期教育振興基本計画 評価指標設定シート

資料3

第2期計画							第3期計画							
施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	担当課	施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標指標の考え方	担当課	
(1)多様なニーズに対応した教育の推進	性的マイノリティの児童生徒の支援						(1)一人一人の特性に応じた教育の推進	性的マイノリティの児童生徒の支援	性的マイノリティの課題を含む人権研修の実施回数	0回	1回	評価指標は、性的マイノリティの課題を含む教職員の人権研修の実施回数を指標とした。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	学校教育課	
	幼児等を対象とした障がい福祉サービスの充実	児童発達支援事業 親子通園開設回数	355回	476回	370回	社会福祉課		幼児等を対象とした児童通所支援サービスの充実	児童発達支援事業 親子通園開設日数	238日	240日	評価指標は、児童発達支援事業の開設日数を指標として設定した。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	社会福祉課	
	就学前の特別支援保育の充実							就学前の特別支援保育の充実	職員等が出席する特別支援教育等に関する研修回数	3回	4回	評価指標は、特別支援教育の専門性向上のため市が実施するまたは全園の職員対象の研修の実施を指標として設定した。目標値は、研修実施回数とした。	学校教育課 保育幼稚園課	
								新たな教育モデルについての研究	「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」を実現するための研究および実績校数	0校	15校	評価指標は、「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」を実現できるよう検討を進めていることから、実績を指標として設定した。目標値は、全校実施とした。	学校教育課	
								療育ネットワークの充実	【新規】発達障がいに関する研修会の参加人数	—	110人	評価指標は、発達障がいへの理解促進のため実施する研修会の参加人数を指標として設定した。目標値は、令和元年度の参加人数を基に設定した。	社会福祉課	
(2)教育相談・教育支援の充実と学校支援体制の構築	就学指導・相談の充実	不登校児童生徒数	小学校:10人 中学校:27人	小学校:16人 中学校:33人	2割以上削減	学校教育課	(2)教育相談・教育支援の充実と学校支援体制の構築	就学指導・相談の充実	不登校児童生徒数	小学校:16人 中学校:33人	小学校:15人 中学校:30人	評価指標は、不登校児童生徒数を指標として設定した。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	学校教育課	
	不登校・非行・虐待等に対する支援の充実							不登校・非行等に対する支援の充実						
	療育ネットワークの確立	スクールソーシャルワーカー活用実績	8校 (拠点校を除く)	13校	14校	学校教育課		児童虐待に対する支援の充実	伊吹山TVによる周知回数【再掲】	0回	1回	評価指標は、児童虐待防止のために行った、研修の実施率を指標として設定した。全ての園で研修が実施されることを目指し、目標値を100%とした。	子育て支援課	
	学校支援専門員の配置							学校支援専門職員の配置	【項目移動】学力・学習状況調査「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」児童生徒の割合（小学校・中学校）	小学校:96.9% 中学校:97.0%	小学校:100% 中学校:100%	評価指標は、全国学力・学習状況調査の結果を用いた。目標値は、第2期計画を引き継ぎ100%とした。	学校教育課	
	いじめの防止等の取組	学力・学習状況調査「学校に行くのは楽しいと思う」児童生徒の割合	小学校:77.0% 中学校:82.1%	小学校: 無 中学校: 無	小学校:88% 中学校:93%	学校教育課		いじめの防止等の取組						
	就学・進学のための経済的支援							就学・進学のための経済的支援	【新規】生活・学習支援(ほたる一む)の実施	支援数 5件	支援数 10件	評価指標は、貧困状態にあるこどもの学習支援の実施件数を指標とする。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	社会福祉課 子育て支援課	
								子どもの貧困対策	教職員への研修の実施回数【再掲】	—	1回	評価指標は、子どもの状況の把握には、教職員の子どもに関する知識や意識の向上が必要ことから、教職員への研修回数を指標とする。目標値は、1回以上の研修を実施することとした。	子育て支援課	
(3)安全・安心な教育環境の整備	子どもたちの安全の確保	「子ども110番のおうち」設置数	326か所	328か所	350か所	子育て支援課	(3)安全・安心な教育環境の整備	子どもたちの安全の確保	「子ども110番のおうち」設置数	329か所	350か所	評価指標は、子どもたちの安全の確保を図るための、子ども110番のおうち、110番のくるまの設置数とする。目標値は、第2期計画の目標値を設定した。	子育て支援課	
		「子ども110番のくるま」設置数	103台	85台	110台	子育て支援課			「子ども110番のくるま」設置数	85台	110台			
	通学の安全確保	スクールガード登録者数	870人	842人	1,000人	学校教育課		通学等の安全確保	スクールガード登録者数	842人	1000人	評価指標は、子どもたちの安全の確保を図るため、スクールガード登録者数とした。目標値は、第2期計画の目標値を参考に設定した。	学校教育課	
	学校教育施設の整備・改修							就学前教育・保育施設、学校教育施設の整備・改修	「教育内容、施設の充実」の満足度（市民意識調査）	無 (R3 85.5%)	90%	評価指標は、教育内容や施設の充実について、市民意識調査の項目を用いた。目標値は、令和3年度の市民意識調査結果(85.5%)を基に設定した。	教育総務課	
	就学前教育・保育施設の整備							給食関連施設の適正な維持管理	給食センターの稼働率	100%	100%	評価指標は、給食センターの稼働率を設定する。目標値は、稼働率100%とする。	学校給食課	

第3期教育振興基本計画 評価指標設定シート

資料3

第2期計画						第3期計画							
施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	担当課	施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標指標の考え方	担当課
	給食関連施設の適正な維持管理							学習環境における感染症対策の実施	今必要な感染症対策実施 校園割合	100%	100%	評価指標は、感染症流行等の状況から必要な感染症対策を実施している校園の割合を設定する。 目標値は、全ての校園で実施することとする。	学校教育課 保育幼稚園課
(4)適切な教育環境の整備	通学区域の弾力的な対応	米原市市民意識調査「教育内容、施設の充実」の満足度	75.6%	無 %	78%	学校教育課 教育総務課	(4)適切な教育環境の整備	通学区域の弾力的な対応	「教育内容、施設の充実」の満足度(市民意識調査)【再掲】	無 (R3 85.5%)	90%	評価指標は、教育内容や施設の充実について、市民意識調査の項目を用いた。 目標値は、令和3年度の市民意識調査結果(85.5%)を基に設定した。	教育総務課
	適切な教育環境の取組												
	35人学級の実施												
(5)教職員の資質や指導力の向上	保育・教育研究・研修の充実	教育センター開講講座・研修会延べ受講人数	979人	426人	1,000人	学校教育課	(5)質の高い教育の整備	教職員の指導力の向上	教育センター開講講座・研修会延べ受講人数	426人 (R1 1,003人)	1,000人	評価指標は、教職員の指導力の向上のためには、研修の充実が必要であることから、研修会等の受講人数を指標として設定した。 目標値は、令和元年度の現状値を基に設定した。	学校教育課
	教職員の資質向上												
	新しい教育課題への対応												
		教職員の働き方改革の推進	【新規】1か月の超過勤務時間が45時間を超える教職員の割合	(R1 32.6%)	20%	評価指標は、働き方改革の成果として、超過勤務時間が45時間を超える教職員の割合を指標として設定した。 目標値は、令和元年度の実績の4割減を設定した。	学校教育課						
基本目標4 生涯にわたって豊かに学び合い、いきいきと活動できる環境をつくります						基本目標4 生涯にわたって豊かに学び合い、いきいきと活動が続けられる環境をつくります							
(1)生涯学習機会の充実	学びの場の提供	米原市市民意識調査「生涯学習の推進」の満足度	82.5%	無 %	85%	生涯学習課	(1)生涯学び続けられる機会の充実	講座の開催	「生涯学習の推進」の満足度(市民意識調査)	無 (R3 85.7%)	87%	評価指標は、生涯学習の推進について、市民意識調査の項目を用いた。 目標値は、令和3年度の市民意識調査結果(85.7%)を基に設定した。	生涯学習課
	公民館活動の充実	公民館・生涯学習センター利用者数	166,075人	83,302人	166,500人	生涯学習課		生涯学習情報の発信					
								市民同士の学び合いの場の提供	【新規】講座受講者からのサークル発足数	0	10	評価指標は、講座の受講者から発足した地域活動等に取組むサークル数を指標として設定した。 目標値は、5年間で10団体とした。	生涯学習課
(2)人権文化の確立	人権教育・人権啓発の推進	ハートフル・フォーラムの実施率	80.40%	48.60%	85%以上	生涯学習課	(2)多様性の理解および人権文化の確立	人権教育・人権啓発の推進	ハートフル・フォーラムの実施率	48.60%	85%以上	評価指標は、人権教育の推進にはハートフル・フォーラムが大きな役割を担っており、実施率を指標として設定した。 目標値は、第2期計画の目標値を設定した。	生涯学習課
	人権教育の担い手の養成	地域人権リーダー研修会の参加者数	241人	174人	250人	生涯学習課		人権教育の担い手の養成	地域人権リーダー研修会の参加者数	174人	260人	評価指標は、人権教育の担い手の養成には、地域人権リーダー研修会が大きな役割を担っており、参加者数を指標として設定した。 目標値は、新型コロナウイルス感染症発生前の直近3年間の平均値255人を基に設定した。	生涯学習課
	人権に関する情報提供							人権に関する情報提供	【新規】各種啓発週間・月間における情報提供回数	10回	12回	評価指標は、人権に関する週間、月間にあわせ、情報提供を行うことで、人権問題等について認識し、考えるきっかけづくりが図れることから、情報提供回数を指標として設定した。 目標値は、人権カレンダーの啓の数を基に設定した。	人権政策課 商工観光課 子育て支援課
	多文化共生の推進							多文化共生の推進	【新規】日本語教室への参加延べ人数	154人	200人	評価指標は、言語の壁を解消することにより、多文化共生社会づくりが促進されることから、日本語教室への参加延べ人数を指標として設定した。 目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	人権政策課

第3期教育振興基本計画 評価指標設定シート

資料3

第2期計画						第3期計画							
施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	担当課	施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標指標の考え方	担当課
	男女共同参画の推進							男女共同参画の推進	【新規】市の審議会等における女性委員の登用(割合)	32.8%	40.0% (現在計画改定中)	評価指標は、政策・方針決定の場に女性の参画が進むよう、女性の審議会等の委員登用割合を指標として設定した。目標値は、令和2年度現状値を基に設定した。	人権政策課
	いじめの防止等の取組(再掲)							いじめの防止等の取組(再掲)	【場所変更】学力・学習状況調査「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」児童生徒の割合(小学校・中学校)【再掲】	小学校:96.9% 中学校:97.0%	小学校:100% 中学校:100%	評価指標は、児童虐待防止のために行った、研修の実施率を指標として設定した。全ての園で研修が実施されることを目指し、目標値を100%とした。	学校教育課
(3)地域で活躍する人材の育成	まちづくりの担い手の育成						(3)地域で活躍する人材の育成	まちづくりの担い手の育成				評価指標は、まなびサポーター登録者数を指標として設定した。	生涯学習課
	学習成果の活用の仕組みづくり	まなびサポーター登録者数(再掲)	135人	164人	145人	生涯学習課		学習成果の活用の仕組みづくり	まなびサポーター登録者数【再掲】	164人	145人	目標値は、まなびサポーターの活動状況に応じて登録者の整理を行う予定であるため、令和2年度の登録者を基に設定した。	生涯学習課
	学習活動とまちづくり活動のマッチング	生涯学習まちづくり出前講座年間実施回数	269回	110回	300回	生涯学習課		学習活動とまちづくり活動のマッチング	生涯学習まちづくり出前講座年間実施回数	110回	300回	評価指標は、生涯学習まちづくり出前講座の実施回数を指標として設定した。目標値は、新型コロナウイルス感染症発生前直近3年間の平均値249件を基に設定した。	生涯学習課
	男女共同参画社会づくりに向けて							男女共同参画社会づくりに向けて	【新規】市の審議会等における女性委員の登用(割合)【再掲】	32.8%	40.0% (現在計画改定中)	評価指標は、政策・方針決定の場に女性の参画が進むよう、女性の審議会等の委員登用割合を指標として設定した。目標値は、令和2年度現状値を基に設定した。	人権政策課
	各分野における指導者や支援人材の確保							各分野における指導者や支援人材の確保	【新規】スポーツボランティア参加者数	(R1 916人)	1,000人	評価指標は、支えるスポーツとしてボランティアの参加人数を指標として設定した。目標値は、スポーツ推進計画を基に設定した。	スポーツ推進課
(4)図書館を活用した読書活動の推進	子どもたちの読書環境の整備・充実						(4)読書を通じた学びの機会の提供	子どもたちの読書環境の整備・充実	【新規】15歳以下の市民一人当たり図書館貸出冊数	8.7冊	18冊	評価指標は、子どもの読書の現状を把握するため、15歳以下の市民一人当たりの図書館貸出冊数を指標として設定した。目標値は、子ども読書活動推進計画を基に設定した。	生涯学習課
	図書館利用の促進	市民一人当たり図書館貸出冊数	11.5冊	6.7冊	12冊	生涯学習課		図書館利用の促進	【新規】レファレンス満足度	43.1%	50%	評価指標は、図書館利用の促進として、調査・研究に必要な本の紹介や資料の検索・提供の手助けなどを行うレファレンスサービスの利用者満足度を指標として設定した。目標値は、図書館サービス基本計画を基に設定した。	生涯学習課
	市民の自由な学習活動と課題解決の支援												
	スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ・学校部活動の連携							スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ・学校部活動の連携	【新規】休日における学校部活動の地域移行部数	2部	6部	評価指標は、休日における学校部活動について、地域で実施する部活動数を指標として設定する。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定する。	スポーツ推進課
	スポーツ発信拠点機関の設立							(仮称)米原市スポーツ推進連絡協議会の設立	【新規】(仮称)米原市スポーツ推進連絡協議会の設立	未設立	設立	評価指標は、(仮称)米原市スポーツ推進連絡協議会の設立を目指していることから、指標として設定した。	スポーツ推進課
	競技スポーツの振興							競技スポーツの振興	【新規】オリンピック・パラリンピックの強化選手	6人	8人	評価指標は、競技スポーツの頂点ともいえるオリンピック・パラリンピック選手の強化選手に選ばれた人数を指標として設定した。目標値は、スポーツ推進計画を基に設定した。	スポーツ推進課
								特色を生かしたスポーツの推進	【新規】スポーツボランティア参加者数	(R1 916人)	1,000人	評価指標は、スポーツボランティアの参加人数を指標として設定した。目標値は、スポーツ推進計画を基に設定した。	スポーツ推進課

第3期教育振興基本計画 評価指標設定シート

資料3

第2期計画							第3期計画						
施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	担当課	施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標指標の考え方	担当課
(5)生涯スポーツの振興	特色を生かしたスポーツの推進						(5)生涯スポーツの振興		【新規】ホッケー競技人口	308人	450人	評価指標は、ホッケーの競技人口を指標として設定した。 目標値は、令和2年度を基に設定した。	スポーツ推進課
	地域スポーツの振興	地域スポーツクラブ会員数(延べ人数)	1,085人	1,056人	1,500人	スポーツ推進課		地域スポーツの振興	地域スポーツクラブ会員数(延べ人数)	1,056	1,300	評価指標は、幅広い年齢層がスポーツを楽しむことができる、総合型地域スポーツクラブの会員数を指標として設定した。 目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	スポーツ推進課
	スポーツ活動等への支援	体育協会加盟人数	3,000人	1,959人	3,100人	スポーツ推進課		スポーツ活動等への支援	スポーツ協会加盟人数	1,959	2,300	評価指標は、単位種目の活動を行う場として、スポーツ協会加盟団体があることからスポーツ協会加盟人数を指標として設定した。 目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	スポーツ推進課
	スポーツ顕彰事業の推進							自然環境を生かしたスポーツの推進	自然を生かしたかスポーツ教室の実施回数	5回	6回	評価指標は、自然を生かしたカヌー教室の実施回数を設定した。目標値は、令和2年度を基に設定した。	スポーツ推進課
	健康づくりの推進							健康づくりの推進	【新規】3歳児の1時間以上外遊びをしている者の割合	3歳児の外遊びの割合:87.4%	3歳児の外遊びの割合:90%	評価指標は、幼少期から外遊びなど体を使う遊びをすることが、生涯のスポーツ振興につながると思われるため、3歳児の外遊びをしている人の割合を指標とし手設定した。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	健康づくり課
								【新規】20歳～64歳で1日30分以上の運動を週2回以上、1年以上している人の割合(男女別)	男性 24.4% 女性 14.3%	男性 25% 女性 15%	評価指標は、運動を継続して行っている成人が増えることで、生活習慣病の予防につながるため、市が実施する検診時の質問票を基に、運動している人の割合を指標として設定した。目標値は、令和2年度の実績を基に設定した。		
(6)生涯学習環境やスポーツ環境の整備	社会教育施設の適切な維持管理	米原市市民意識調査「スポーツの推進」の満足度	83% (H25)	無 %	85%	スポーツ推進課	(6)生涯学習施設やスポーツ施設の整備・活用	社会教育施設の適切な維持管理	米原市市民意識調査「スポーツの推進」の満足度	(R3 83.2%)	85%以上	評価指標は、スポーツの推進について、市民意識調査の項目を用いた。 目標値は、令和3年度の市民意識調査結果を基に設定した。	スポーツ推進課
	体育・スポーツ施設の整備												
	国民体育大会滋賀県開催等に向けた環境整備												
	産学官の連携												
基本目標5 米原の自然・歴史・文化の保存・活用を進め、地域文化を育みます							基本目標5 米原の自然・歴史・文化の保存・活用を進め、地域文化を育みます						
(1)自然環境保全の意識向上	地域資源を生かした学習機会の創出	給食センターにおける収穫体験実施校数	0校	3校	3校	学校給食課	(1)自然環境保全意識の醸成		【新規】「自然環境の保全」の満足度(市民意識調査)	無 (R3 85.8%)	89%	評価指標は、自然環境の保全について、市民意識調査の項目を用いた。 目標値は、令和3年度の市民意識調査結果(85.8%)を基に設定した。	自治協働課
								伊吹山に登ろう事業実施率	15%	100%	評価指標は、伊吹山に登ろう事業の実施により、環境保全に対する意識の向上を図ることから、実施率を指標として設定した。	学校教育課	
								【新規】伊吹山等における自然観察会【再掲】	0回 (R1 4回)	4回	評価指標は、自然環境を学ぶための機会の創出の指標として、継続的に実施している自然観察会を設定した。 目標値は、令和元年度を基に設定した。	自治協働課	
	食育を通じた自然環境保全意識の向上							給食センターにおける収穫体験実施校数	3校	3校	評価指標は、給食センターが実施する収穫体験の学校数を指標として設定した。 目標値は、令和2年度の実績を基に設定した。	学校給食課	
スポーツイベントや社会活動を通じた自然環境保全意識の向上	いきいき健康ウォークの参加者数	153人	無 人	300人	スポーツ推進課								

第3期教育振興基本計画 評価指標設定シート

資料3

第2期計画						第3期計画							
施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	目標値 (令和3年度)	担当課	施策	施策の方向	評価指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	目標指標の考え方	担当課
(2)市民の文化・芸術活動の促進	文化のまちづくりの推進	米原市芸術展覧会への市民作品数	195点	52点	220点	生涯学習課	(2)市民の文化・芸術活動の促進	文化のまちづくりの推進	米原市芸術展覧会への市民作品数	52点	100点	評価指標は、市民が芸術展覧会へ出品する作品数を指標として設定した。目標値は、音楽DEまちづくり事業の廃止や出品作品の減少を踏まえ、近年の最も多かった出品数を考慮し設定した。	生涯学習課
	文化施設の維持管理と運営	米原市文化協会事業への参加団体数(累計)	159団体	58団体	165団体	生涯学習課		文化施設の運営と利用促進	米原市文化協会事業への参加団体数	58団体	100団体	評価指標は、文化協会事業へ参加する団体数を指標として設定した。目標値は、文化協会の事業の見直し(合同文化祭の廃止等)を考慮し設定した。	生涯学習課
	地域文化の担い手の育成	文化協会員数	1,219人	896人	1,500人	生涯学習課		地域文化の担い手の育成	文化協会加盟団体数	75団体	75団体	評価指標は、文化協会加盟団体数を指標として設定した。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	生涯学習課
	文化施設のボランティア組織の育成												
(3)歴史・文化財の保存活用と学習機会の充実	歴史文化遺産の保存・継承・発信	文化財補助事業申請件数	25件	28件	25件	生涯学習課	(3)歴史・文化財の保存活用と学習機会の充実	歴史文化遺産の保存・継承と活用	文化財補助事業申請件数	28件	30件	評価指標は、文化財補助事業の申請件数を指標として設定した。目標値は、令和2年度の現状値を基に設定した。	生涯学習課
	歴史文化遺産の発掘調査・資料調査の実施	米原市市民意識調査「歴史・文化の継承と活用」の満足度	86.3%	無 %	88%	生涯学習課		埋蔵文化財の発掘調査・未指定文化財の調査の実施	「歴史・文化の継承と活用」の満足度(市民意識調査)	(R3 87.7%)	90%	評価指標は、歴史・文化の継承と活用について、市民意識調査の項目を用いた。目標値は、令和3年度の市民意識調査結果(87.7%)を基に設定した。	生涯学習課
	文化財保護活動の充実							文化財保存活動の充実					
(4)歴史・文化に親しむ機会の充実	米原市の歴史・文化の理解促進	歴史講座受講者数	51人	48人	70人	生涯学習課	(4)歴史・文化に親しむ機会の充実	歴史・文化の魅力発信	歴史講座受講者数	48人	70人	評価指標は、歴史講座の受講者数を指標として設定した。目標値は、第2期計画の目標値を参考に設定した。	生涯学習課
	資料館・歴史館の管理運営	歴史イベント開催回数	11回	9回	15回	生涯学習課		資料館・歴史館の管理・運営	歴史イベント開催回数	9回	15回	評価指標は、歴史イベントの開催回数を指標として設定した。目標値は、第2期計画の目標値を参考に設定した。	生涯学習課